

日越大学メールマガジン



ダブルディグリープログラム設立 調印式

早稲田大学とダブルディグリープログラム設立

2025 年 2 月 13 日、早稲田大学社会科学部と日越大学学際社会科学部・研究科は、ダブルディグリープログラム設立の調印式を開催しました。本プログラムは、両大学間の学部学生を相互派遣し、それぞれの大学の学位取得を可能にする制度です。調印式では、早稲田大学の佐藤洋一教授（社会科学部長）が「長年にわたる交流の成果の上に、新たに正式なプログラムが結実したことを大変喜ばしく思います」と交流促進への意欲を表明し、日越大学の古田元夫学長も「日越大学にとって初めてのダブルディグリープログラム」としてその重要性を強調しました。また、2025 年 4 月からは修士課程地域研究プログラムと日本語教育プログラムでの両大学の連携強化が見込まれています。さらに、早稲田大学社会科学部との連携を視野に入れた社会科学分野を横断する学際的な英語学位プログラムの構想が紹介されました。これに対し、北村能寛教授（早稲田大学社会科学総合学院・学院長補佐）は、「TAISI プログラム（早稲田大学社会科学部の英語学位プログラム）の経験を活かし、講師派遣や共同授業を通じて多様な学びを提供したい」と述べ、山田満教授（同学術院教授・日越大学学部日本学プログラム共同ディレクター）は、「両地域の特色を反映し、実践的なプログラム設計を目指す」と意欲を示しました。日越大学のグエン・ホアン・オアイン副学長は、「本プログラムの成功は両大学の協力の賜物」と関係者への感謝を述べ、今回の設立が日越間の教育・研究交流の新たな一歩となることに触れながら、今後の連携強化に期待を寄せました。

今月号の内容

■ 早稲田大学とダブルディグリープログラム設立

■ JAL との覚書締結
日本でのインターンシップが実現

特集：グローバルな視点で考える
知の対話と研究・実践の広がり

■ 日本で学ぶ高齢者ケア 岡山大学
さくらサイエンスプログラム

■ UNDP×VJU Movers プログラム
ムワークショップの開催

■ JETRO ウェビナーで日越大学を
紹介 日本企業から高まる関心

■ 「日本で働く」を学ぶ
ビジネス基礎セミナーを実施

■ ホアラックキャンパス落成式の
開催

日越大学「Career Design Week
2025」出展のご案内（企業・大学）

JAL との覚書締結 日本でのインターンシップが実現



2月25日、日越大学は日本航空株式会社（JAL）と協力覚書を締結しました。署名式には日本航空株式会社ベトナム支店長安部秀人氏と日越大学の古田元夫学長が出席し、両者のパートナーシップのさらなる強化が確認されました。この協定により、日越大学の学部生は、JALが企画する日本での長期インターンシッププログラムに参加できるようになります。JALでの就業体験は、学生たちが日本のビジネス環境や職場文化を実際に理解し、適応力を養う機会となるとともに、異文化理解や言語能力、コミュニケーションスキルの向上も期待されます。



Focus

グローバルな視点で考える 知の対話と研究・実践の広がり

近年、アジアにおける持続可能な発展や平和構築、経済成長を支える人材育成の重要性がますます高まっています。こうした課題に向き合うため、日越大学は、国際的なネットワークと専門性を活かし、様々なパートナーとの対話を通じて新たな知見を共有し、研究や教育の可能性を広げる取り組みを進めています。このような取り組みの中から、今回は以下の2つを特集します。

特集1：VJU 日越ものづくり研究会キックオフセミナー

「変わるベトナムのものづくりと求められる新しい人材像-日越大学の目指すものづくり教育-」



日本とベトナムのものづくり分野における共同教育の推進と、研究者や実務者間の情報交換の活性化を目的に、2024年、日越大学内に「日越ものづくり研究会」が設立されました。2025年2月5日に開催されたキックオフセミナーでは、JETRO ハノイ事務所や企業の代表者がベトナムの製造業の変化や課題を紹介したほか、日越大学の学生による研究発表も行われました。研究会の発案者の一人である大阪大学の榎本俊之教授は、挨拶の中で「これからのベトナムのものづくりを発展させる人材を養成するためには、企業との連携を通じた人材育成が重要」と述べました。

本セミナーには日越大学の教職員・学生に加えて多くのパートナー企業が参加し、産学連携を通じた人材育成とものづくり分野の発展に向けて力強いスタートを切りました。

特集2：早稲田大学共催セミナー「グローバル・アジアと平和構築—知識集約の未来」

2025年2月18日、早稲田大学社会科学総合学院の先生方を迎え、セミナー「Global Asia and Peacebuilding: The Future of Knowledge

Aggregation」を開催しました。本セミナーでは、知識集約型社会におけるSDGsのローカライズや平和構築について議論が行われました。早稲田大学の早田幸教授は「Localizing SDGs in a Knowledge-Intensive Society」と題し、知識の統合と共創の重要性を強調し、山田満教授は「Peacebuilding from European & Asian Perspectives」にて、国際協力の課題を講演しました。講演後は活発な意見交換が行われ、学術的対話が深まり、知識共有が促進される機会となりました。今後の研究と実践の発展が期待されます。



日本で学ぶ高齢者ケア 岡山大学さくらサイエンスプログラム



高齢者施設を訪問する学生

2月3日～9日、学部日本学プログラム（BJS）の学生7名が岡山大学の「さくらサイエンスプログラム」に参加しました。「ケアの現場から考える日本語と日本文化」をテーマに、岡山大学でのレクチャーを受けた後、広島県や岡山県の高齢者施設を訪問し、施設見学や入居者との交流を行いました。帰国後の成果発表会では、学生たちがベトナムの高齢化問題について調査し、今後の研究への意欲を示しました。岡山大学の本村昌文教授は「日本での学びを生かし、ベトナムならではのケアのあり方を探求してほしい」と期待を寄せました。参加した学生たちは、日本語や文化を学ぶだけでなく、高齢化という社会課題に向き合うことができました。

UNDP×VJU Movers プログラムワークショップの開催

2月13日、国際連合開発計画（UNDP）ベトナムと日越大学の共催で、「Movers プログラム」のワークショップが開催されました。Movers プログラムは、地域に根ざしたトレーニングを通じてSDGsの理解や起業家精神を育むボランティア活動で、UNDPとシティ財団が共同で立ち上げたYouth Co:Labの活動の一環です。ミーディンキャンパスで実施された今回のワークショップは、SDGsの基礎を学ぶだけでなく、リーダーシップやファシリテーション能力の向上も目的としています。学部日本学プログラム（BJS）の学生を中心に約20名が参加し、UNDPの資料をもとにSDGsの重要性を学ぶとともに、グループディスカッションやプレゼンテーションに取り組みました。国際機関やグローバル企業を目指す学生や社会課題の解決に関心のある学生たちにとって、今後のキャリアを考えるきっかけにもなりました。日越大学は今後もUNDPとの連携を深め、未来のリーダー育成に取り組んでまいります。

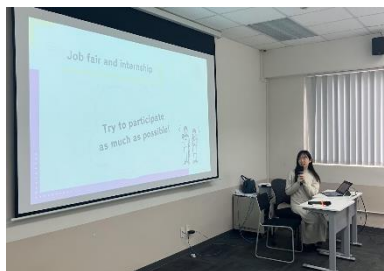
JETRO ウェビナーで日越大学を紹介 日本企業から高まる関心

2月20日、JETRO ハノイ事務所で開催された「JETRO Overseas University Connect ウェビナーシリーズ第8回」にて、日越大学が紹介されました。本セミナーには、日越大学生の採用に関心のある約250名が参加し、大きな注目を集めました。セミナーでは、日越大学の概要や就職支援、インターンシップ制度について説明が行われた後、学部日本学プログラムの卒業生チャン・トゥー・ホアイ氏（ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD）が登壇。日越大学の学生の特徴や自身の就職活動を紹介しました。質疑応答では約50件の質問が寄せられ、日越大学の学生に対する高い関心がうかがえました。



卒業生チャン・トゥー・ホアイ氏（左）

「日本で働く」を学ぶ ビジネス基礎セミナーを実施



滝口静さん（関西学院大学）

2月21日、日越大学ミーディンキャンパスで「日本で働くためのビジネス基礎セミナー」を実施しました。冒頭のセッションでは、日越大学で長期インターンシップ中の滝口静さん（関西学院大学4年生）が“My experiences of job hunting in Japan”というテーマで、自身の経験に基づく日本の履歴書の書き方や日本企業との面接のポイントを紹介しました。次に、Nguyen Thi Bich氏（JICA Project Assistant）が“How to work with Japanese people”と題して、8年にわたって日本人コミュニティで働いてきたベトナム人としての考えを学生に伝えました。参加した学生たちは、具体的

的な事例から新たな視点と実践的な知識を得て、日本での就職に一層意気込む様子が見られました。日越大学は、日本で働くことに関心を持つ学生への積極的なサポートを行っています。

ホアラクキャンパス落成式の開催

日越大学では、2023年10月からホアラク QGHN04 新キャンパスで教育活動を行っています。その後も研究・実験・実習室整備や教育環境改善のための改修工事や機材調達を続けてきましたが、概ね整備が完了したことから、2月25日、落成式を開催しました。落成式にはハノイ国家大学や在ベトナム日本国大使館、JICA 等の関係者を招き、新キャンパス落成までの道のりや各関係機関の協力実績、またそれら成果が発表されるとともに、関係者間で謝辞や祝辞が交わされ、各施設のお披露目となるキャンパスツアーも実施されました。

日越大学はこれら施設を有効に活用し、教育・研究活動をますます充実させてまいります。



日越大学「Career Design Week 2025」出展のご案内（企業・大学）

日越大学では、学生の就職や進学支援を目的に、従来の Job Fair と進学説明会を同時に提供するイベント「Career Design Week 2025」を実施します。企業、大学の説明の機会としてご活用いただきたくご案内いたします。出展をご検討の際は、お気軽にお問い合わせください。

日時： 4月21日（月）から26日（土） 平日16時～18時、土曜日9時～13時

場所： 日越大学ミーディンキャンパス、およびオンライン

対象： 日越大学学部・大学院（修士）全学生約1,000名、卒業生

問合せ： JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト専門家 猪股

E-mail: inomata.m@vju.ac.vn



新年のご挨拶 Chúc mừng năm mới!



ベトナムでは2025年1月29日にテト（旧正月）を迎えました。日越大学でも、新年の顔合わせとして教職員が一堂に会し、新年の幕開けを祝いました。本年も皆様とのご縁を大切に、さらなる発展に努めてまいります。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

■日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

JICA プロジェクトページ（ODA 見える化サイト）

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html>

■お問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト メルマガ編集部

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記お問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト